

子どもからお年寄りまで 秋の夜長に集う 馬場地区公民館 十五夜綱引祭開催

9月28日、松崎児童公園にて馬場地区公民館主催の十五夜綱引祭が開催されました。馬場地区の10自治会、約250名が参加。綱引きのほか、抽選会やネットネットボール・ホールインワンなどのレクリエーションも行われ、大いに盛り上がりました。山村留学で今年4月から錦江町に滞在している大根占小3年の五嶋良多さんは「綱引きを楽しみにしてきた。錦江町は楽しい。」と満面の笑みで語りました。



平成19年から続いている十五夜綱引祭。コロナ禍は一時中断したものの、昨年からは復活。馬場地区の伝統行事となっています。

大原地区「日本舞踊でお楽しみ会」開催 笑い感動で地域を元気に

9月21日、大原地区公民館で「日本舞踊でお楽しみ会」が開催され、今年100歳を迎える大園エキさん、98歳の山元ナチコさん、96歳の横原テル子さんを交え25名が参加しました。大原出身の那須ゆり子さんの素晴らしい舞いに参加者から大きな拍手と歓声があがりました。主催した代表の横原利己さんは「小学校の閉校などで大原地区のイベントが減少する中で、なにか楽しい催しがあればと思い仲間と企画しました。大勢の参加をいただいたので来年も開催したい」と思いを語りました。



マジックショーではネタバレに笑いこぼれるハプニングも。「おかあさん」の歌を合唱するコーナーでは涙ぐむ方もいらっしや、笑い涙溢れるひとときとなりました。



←議場でクイズに挑戦する子どもたち。普段なかなか入る機会のない場所にドキドキしていました。



町のことや役場の仕事をクイズで学ぶ 町内小学校の児童34名が交流

10月19日、町内小学校の児童たちに交流の機会を設けようとして役場の若手職員が企画した「謎解きは庁舎の中で」が開催されました。本イベントは今年で3回目を迎え、町内小学生34名が参加。庁舎内を巡るスタンプラリーが行われ、子どもたちは役場職員が考えた町や役場の仕事に関するクイズに挑戦しました。大根占小6年の岩留大悟さんは「難しいクイズもあって楽しかった。マイナンバーのことが知れた。」と笑顔で語りました。

チーム「風は南から」は、認知症を持つ方自身の声をもとに、園芸作業を通し、交流の場づくりを行っています。



「チーム風は南から」の活動、全国へ！！ 日本認知症予防学会学術集会に参加

「認知症フレンドリーな錦江町づくり」に取り組む町民有志による「チームあ!!to HOME」の1チームである「風は南から」は、横浜市で開催された第13回日本認知症予防学会学術集会において、『園芸作業交流会による認知症啓発と共生の場づくりの試み～私の苦手をあなたの得意で補って～』と題し、活動報告を行いました。様々な方々（年代・障害や病気の有無に関わらない）の交流の場が持つ意味について報告し、地域住民の交流の活性化を促す取組であるとの評価をいただきました。

多彩なアイデアを発表 アントレプレナーシップ教育

錦江中では3年生を対象に3日間かけて「町の未来のためのアイデア」をグループ考える「イノチャレ！」が実施されました。



錦江中学校と田代中学校で、課題解決のアイデア発想方法を学び、かつ地域とのつながり・魅力を発見してもらうことを目的としたアントレプレナーシップ教育の発表会がそれぞれ開催されました。錦江中3年の小平健太郎さんは「将来についての考えが深まった」と振り返りました。また、田代についてもっと知りたいと田代の立体地図を制作した田代中3年小梅枝更紗さんは「山が多いことを改めて感じた。今後はどういう作物を作るのが向いているのかも調べられたら」と話しました。

錦江町合同金婚式に6組の夫婦が参加 夫婦で苦楽を乗り越えて50年

結婚50年の節目を祝う合同金婚式が10月23日に錦江町総合交流センターで行われ、6組12名が参加しました。佐藤栄作のノーベル平和賞受賞や読売巨人軍の長嶋茂雄の現役引退などがあった1974年代。参加者を代表して小園久美さん夫婦が「今後とも健康に気を付けて夫婦仲良く過ごしていきたい」と感謝を伝えました。



夫婦で三献の儀で杯を交わし、これまで以上に固い絆を結びました。結婚当時に振り返る新聞記事や記念品が贈られました。



田代中では全校生徒が1人ずつテーマを考え、半年間研究や制作等を実行して発表する「TJK（田代自己課題解決）」が実施されました。



日没が早くなり、夕暮れ時の事故が多くなるこの時期。ドライバーの皆様は早めのライト点灯を。



なんぐう交通・防犯少年団 安全運転を呼びかける

秋の全国交通安全運動に合わせ、町文化センター前でなんぐう交通・防犯少年団の2名が安全運転を呼びかけました。「安全運転」や「運転超集中」などが書かれた手作りのプレートを掲げ、道行く車にPR。参加した大根占小5年の川越心美さんは「ドライバーのみなさんに、安全に運転してほしいという思いが伝わるといいな」と語りました。

